

おすすめの本 **3** 月号



<小学1・2年>



『しごとってなんだろう』

ほそかわ てんてんさく え  
 細川 貂々作・絵  
 こうだんしゃ  
 講談社

しごとって、どんなもの? おとなに聞いてみたけどわからない。パパもママも先生も、なんだかわからないしごとにふりまわされているの? しごとについてかわいいイラストとやさしい書き文字でわかりやすく教えます。

<小学3・4年>



『グレッグのダメ日記 すごいひみつ』

ジェフ・キニー作, 中井 はるの訳  
 ポプラ社

パパはいつも、鼻クソほじりの穴は選べるけど、家族は選べないつて言う。そのとおりだ。だって、生まれた瞬間、頼んだわけでもない人たちの一員に自動的になっちゃうんだから…。読むと元気になる、すごーくダメな少年の日記。

<小学5・6年>



『青春サブリ。』

日比野 恭三文, 青木 美帆文, オザワ部長文, 近江屋 一朗文, 菊地 高弘文, くじょう絵  
 ポプラ社

川越高校の文化祭実行委員会・門班は、実在の建築を参考に設計した入場門を高校生だけの力で作る。班長の竜也はロシアのモスクをモチーフに選んだが…。部活をテーマにした全5話の〈実話〉青春ショート・ストーリーを収録。

<全学年>



『そうだったのか! 都道府県名の由来ずかん』

西村 まさゆき著, タラ ジロウ絵  
 ほるぷ出版

「小さい坂」が由来の都道府県は? 47都道府県名の由来を楽しめるよう、都道府県名・旧国名の由来だけを記した絵地図、都道府県名・旧国名を記した絵地図を順番に収録。由来の解説も県章・県旗とともに掲載する。

<小学1・2年>



『糸をつむいで世界をつないで』

ケイティ・ハウス文, ティナ・ミルタボヴァ絵, 中野 伶奈訳  
 ほるぷ出版

布には世界が織りこまれてる。はた織りの音がうたうのは、人のつながり、そのぬくもり。世界中で手から手へと受け継がれてきた織物の歴史を、美しい絵とリズムカナル言葉で伝える。



『ぼくはぼんこつじはんき』

由美村 嬉々文, 山本 久美子絵  
 あさ出版

ぼくは、うどん・そばのじはんき。今日も大ぜいの人と並んでいる。でも実は、ぼくはかなりくたびれていて、みんなからは「ぼんこつじはんき」と呼ばれ…。50年以上活躍している秋田市の自動販売機の物語。



『はたらく図書館』

吉田 亮人写真, 矢萩 多聞文  
 創元社

図書館の仕事ってのんびりしてそう、と思ったら大間違い。書庫から本を取り出し、返ってこない本を催促し、壊れた本を直すこともあって、毎日大忙し! 奈良の図書館「奈良県立図書館情報館」の1日を写真で紹介する。

<小学3・4年>



『はっけん! 田んぼのいきもの』

大塚 泰介編著, 関 慎太郎写真  
 緑書房

田んぼのいきもの不思議が楽しみながらわかるビジュアルガイド。田んぼで見られるいきものを季節ごとに写真で紹介するとともに、田んぼの1年の様子、野外観察と採集の方法、田んぼの文化・歴史などを解説します。



『森でつながるエゾモモンガ』

原田 佳実写真・文  
 文一総合出版

北海道の森にすみ、食べるも眠るも、すべて木の上で行うエゾモモンガの謎につつまれた生態を、ほかの生き物たちとの関係性も含めて紹介する写真絵本。エゾモモンガの生態を詳しく解説したQ & Aも掲載。



『モンシロチョウ、「ねむるさなぎ」のひみつ』

橋本 健一著  
 汐文社

研究室でモンシロチョウを育てると、冬なのにチョウウになります。なぜ「ねむるさなぎ」にならないのでしょうか? 全国で幼虫を採集し、一度に150匹育ててみると…。飼育ポイントも掲載。

<小学5・6年>



『りんごの棚と読書バリアフリー2』

りんごプロジェクト監修  
 フレーベル館

障がい者と読書をつなぐ「りんごプロジェクト」の活動を紹介。2は、読むことに難しさを感じている人が使えるよう、いろいろな工夫がされた本や資料「バリアフリー図書」を取り上げる。



『ぼくのはじまったばかりの人生 わすれない日々』

イーサン・ロング作・絵, 代田 亜香子訳  
 鈴木出版

両親が離婚して、母さんは家を出ていった。ぼくと兄さんと妹は、父さんとくらしている。ぼくは不安で、よく眠れなくて、怒ると止まらなくなる。ぼくの人生、どうなっちゃうんだ?



『カトーレンの王』

ヤン・テルラウ作, 西村 由美訳, にしざか ひろみ絵  
 小学館

カトーレン国の王が死んだあと、6人の大臣が政治を行っていた。王が死んだ日に生まれた少年スタッハは、17歳になると「ぼくがカトーレン国の王になる」と決意をする。そんなスタッハに大臣たちは7つの無理難題を課し…。